



# 心が通うとは

辞令交付式 レイ・カレッジ

「本来の自分を確立する」×「相手を理解する」  
＝通じ合う関係

2009年4月17日

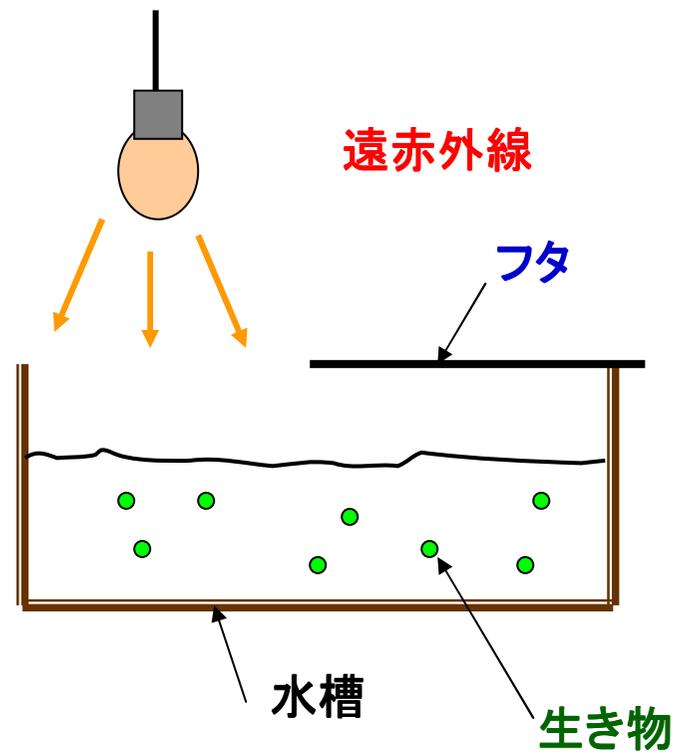
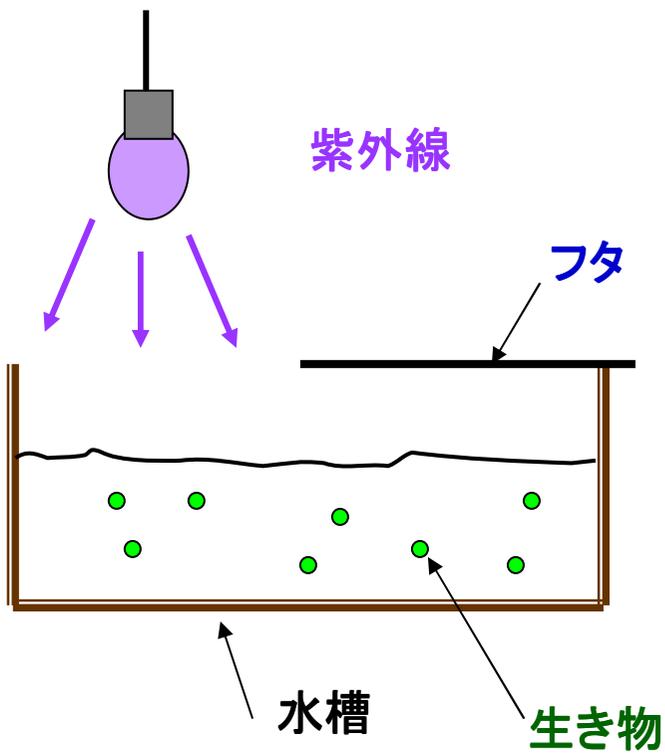
**ラジエンスウェア株式会社**

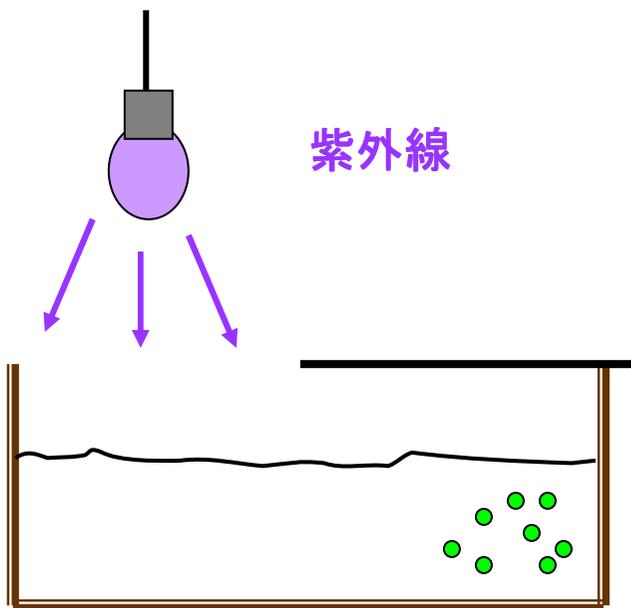
埼玉県児玉郡上里町堤696-7

代表取締役 中嶋吉男

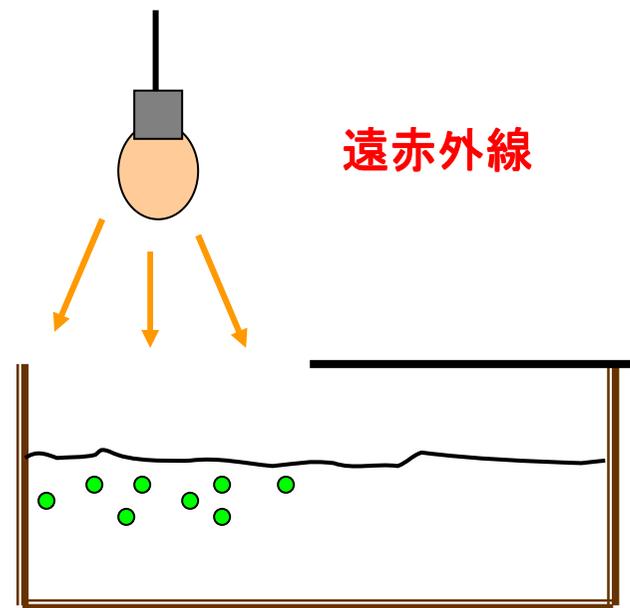
TEL 0495-35-0081 FAX 0495-35-0075







紫外線



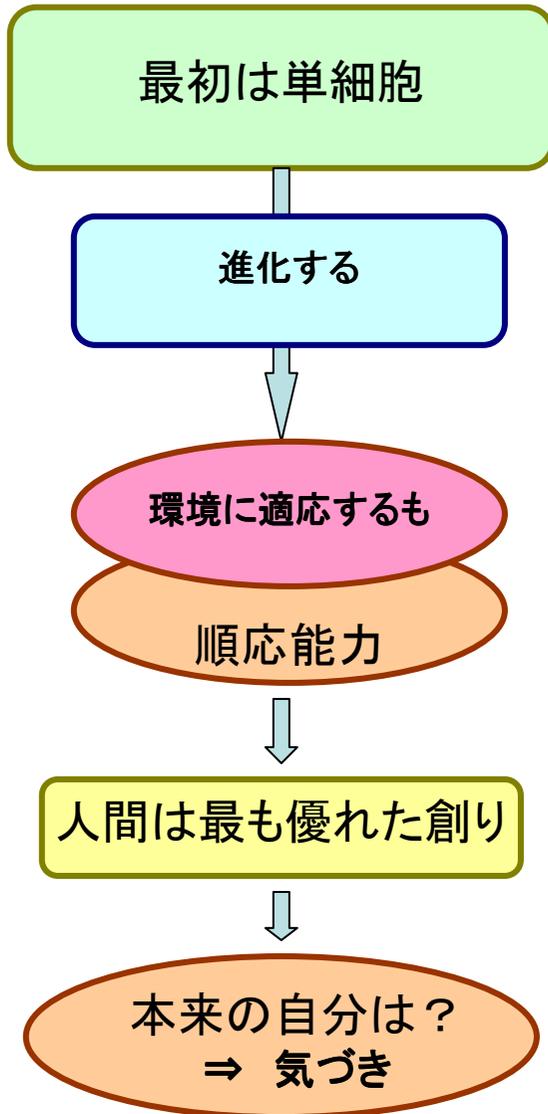
遠赤外線

「嫌い」「避ける」

「好む」「寄ってくる」

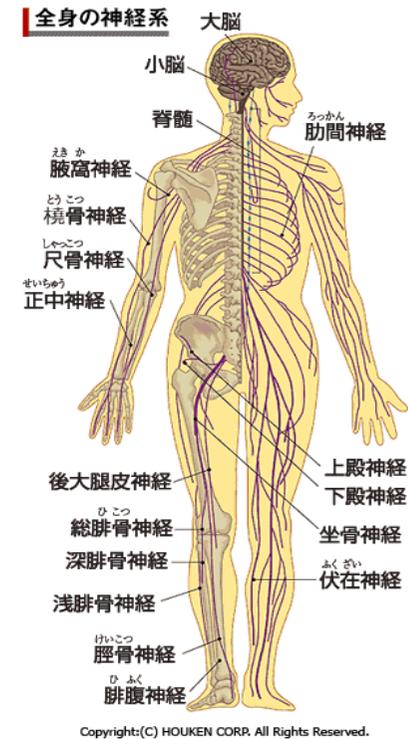
細胞の性質=DNAの性質

人間も同じ



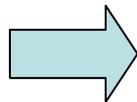
設計図(DNA)により決まっている

死ぬまで同じ創りを保つ  
=コピーを繰り返す

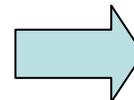


同じ創りの中に歴史(記憶)が刻まれる  
本質の部分と歴史を刻まれた自分が同居している

「受身幼児期」  
受け入れを知る



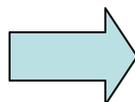
「安定成長期」  
自我を覚える



「多感思春期」  
自分は何者か



「実決青年期」  
生き様を決める



「幸得発展期」  
自分の城を築く



自分を創っている「構造」「性質」は優れており、**良いものである**

生きてきた「環境」「体験」により、今の自分を**演じている**

**幼児期**に最も影響を受ける

自分の生きてきた**歴史**をひも解き、整理する

今の自分は「何に**喜び**」「何に**怒り**」「何に**おびえる**」かを認識する

自分が見えてくると相手も見えてくる

心の通う**コミュニケーション力**がついてくる

心が通うようになる

## 相手を理解する

- ① 相手の特徴を知る ⇒ 「男女」「年代」「地域」「立場」「環境」
- ② 相手の好みや志を知る ⇒ 「大切にしているもの」「感動するもの」「将来の夢」
- ③ 必要としている支援内容 ⇒ 「苦手なもの」「困っていること」「目の前の壁」

## 自分を知ってもらう

- ① 正直になる ⇒ 感じたままの自分を認める
- ② 伝えること ⇒ 感じていることを相手に話す
- ③ 向き合う ⇒ 相手の目を見て話す

相手を信頼できる環境創り

めくもりの源